

商工新聞

長岡版

発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七
〇二五八・二三三・五九四八

2017年
11月6日
第1882号

11月に入り気温の低い日が多く
なってきました。7日は立冬。暦の
上では早くも冬を迎えます。

「いま守りたい いのち・くらし・商売を！」 全国から約1700名が 参加し第15回全国業者婦人決起集会が盛大に開催されました

10月26日(木)、東京・日比谷野外音楽堂にて第15回全国業者婦人決起集会が開催され長岡民商婦人部からは3名が参加しました。決起集会は所得税法第56条を廃止し業者婦人の働き分を認めることや消費税のこと、憲法改悪反対など業者婦人の切実な要求を掲げ2年に一度開催されています。集会に先立ち午前には上野駅での宣伝行動、国会議員要請、議員懇談会の3班に別れて活動。国会議員への要請行動に参加した長岡民商婦人部の片桐ミサさんは県内他民商からの参加者と共に6名で自民党の塚田一郎参院議員、共産党の武田良介参院議員を訪問。塚田議員は秘書による対応でしたが武田議員とは本人と懇談。先の衆院選についての報告の他、参加者それぞれが商売の実情を話しました。「地元の仕事が減っている」「地域が廃れて人手も足りなくなっている」と話しが出ると武田議員は「地域差があるのは大変な問題だ」と熱心に耳を傾け所得税法56条の廃止署名も渡すことができました。

また議員会館講堂で行われた議員懇談会には本田明美さん、樋口信子さんが参加。所得税法第56条は民主党政権時代、改善に向けて動きが見えたものの自民党の政権復帰で再び後退していることなど概要や経緯の説明がありその後は質疑応答に移りました。

午後には総勢1700名が一堂に会した決起集会。「全国各地の業者婦人の発言に励まされた」と片桐さん。集会の最後には県婦協の渡辺照子会長が先日の衆院選について発言し全国的に自民党が多数の議席を獲得するなか新潟県では野党の候補が4つの選挙区で当選するなど市民と野党の共闘が大きな成果をあげていることが報告されると参加者からは万雷の拍手が送られました。集会の終了後は日比谷から東京駅までおよそ1キロの道のりをデモ行進し1日を締めくくりました。これからも暮らしや商売に関わる多くの業者婦人が活躍するため要求を掲げ声をかけあつて運動を継続していきます。



青年部が学習会を開催しました

10月23日夜、毎月恒例の青年部学習会を開催しました。今回は会員さんから要望のあった「弥生会計」を含む会計ソフト、スマートフォンアプリについて知識を深める学習会となりました。スマホがより私たちの生活により身近になるなか、最近では「filee」や「Airレジ」といった会計のアプリがスマートフォンに登場しています。

「弥生」に代表される会計ソフトの利点はパソコンにあまり詳しくない人やそれほど経理の知識のない人でも取引をきちんと入力すればある程度の会計データを簡単に作成できる事です。とはいえ確定申告の時期になって1年分の取引をまとめて入力するとなると時間がかかりますし当然入力ミスも起こりやすくなります。売上や仕入、経費に計上する領収書の整理などはこまめに行うようにしましょう。青年部ではこれからも皆さんの要求のもと学習会を開催していきます。



総選挙が終わり特別国会が召集

突然の解散により行われた衆院選が終わり舞台は特別国会に移りました。解散の前後で新しい政党が出来るなどしたため野党の勢力分野に変化が生じた一方、与党は選挙前と比べ議席をほぼ維持。安倍内閣の進める消費税増税や憲法改正、アベノミクスなど個別の政策に対する評価は決して高くないものの結果として自民党が多数の議席を得ています。選挙は終わりましたが今後も安倍内閣の進めようとする政策を厳しくチェックしていくことには変わりはありません。目指すものは国民目線の政治です。私たちの暮らしやすい社会に変えていくため力を合わせて運動に取り組んでいきます。

大増税・憲法改悪反対!!

